

欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2018年12月6日～2019年6月5日

第 20 期 決算日：2019年3月5日

第 21 期 決算日：2019年6月5日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、欧州の株式等を実質的な主要投資対象とし、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い運用すること、および原則として対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかることにより信託財産の成長を目指すことを目的としております。ここに運用状況をご報告申し上げます。
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第21期末 (2019年6月5日)	
基準価額	9,876円
純資産総額	865百万円
第20期～第21期	
騰落率	+5.3%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

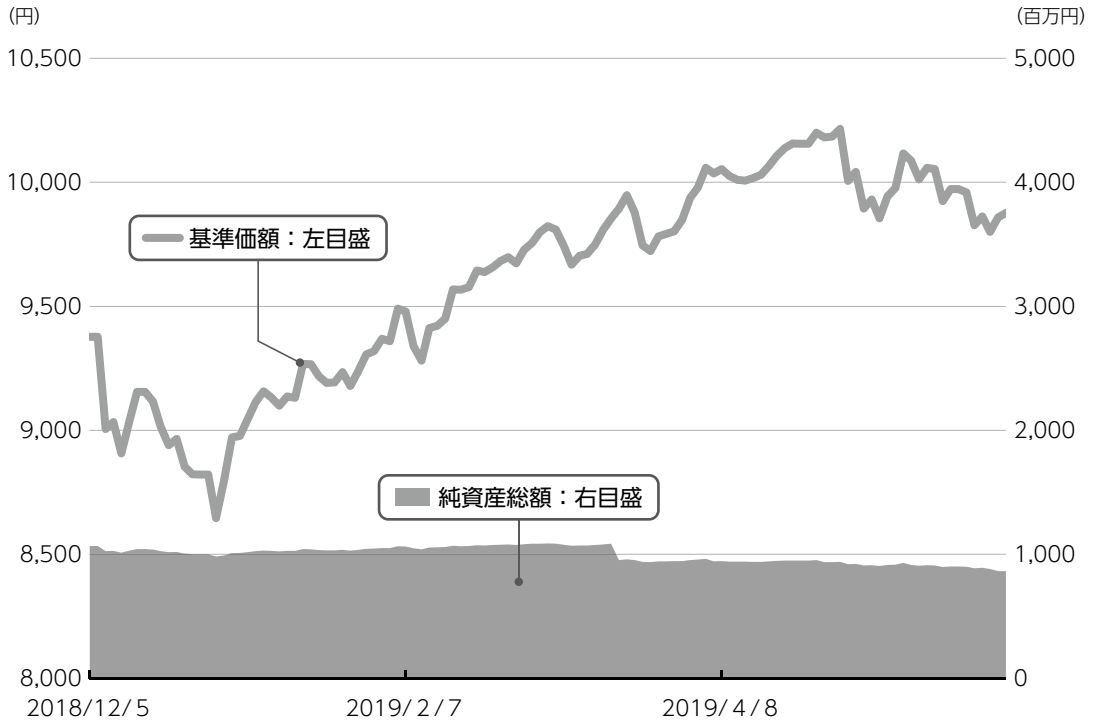
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第20期～第21期：2018年12月6日～2019年6月5日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第20期首	9,377円
第21期末	9,876円
既払分配金	0円
騰落率	5.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ5.3%の上昇となりました。

▶ 基準価額の変動要因

上昇要因

保有する欧州株式が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

2018年12月6日～2019年6月5日

1万口当たりの費用明細

項目	第20期～第21期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	58	0.605	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(21)	(0.214)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(36)	(0.375)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.005	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	59	0.610	

作成期中の平均基準価額は、9,605円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

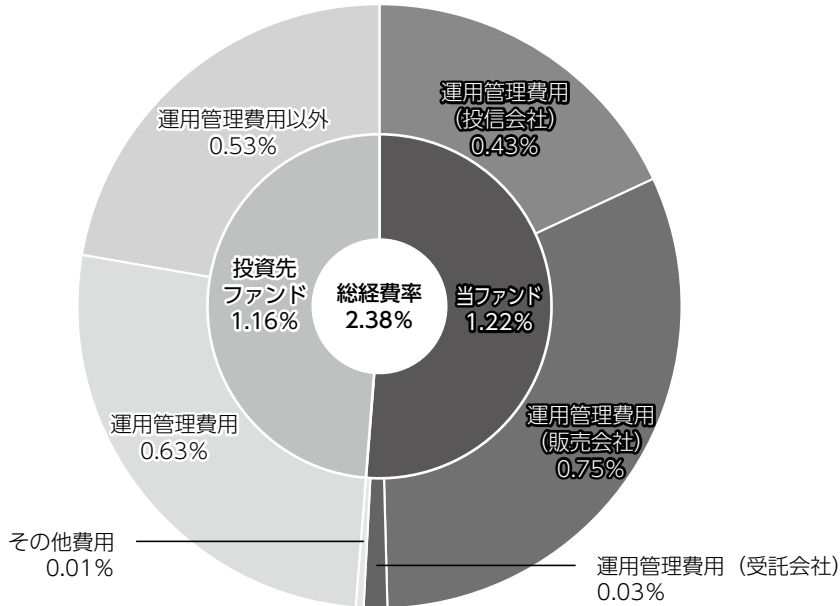
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.38%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.38
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.22
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.63
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.53

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

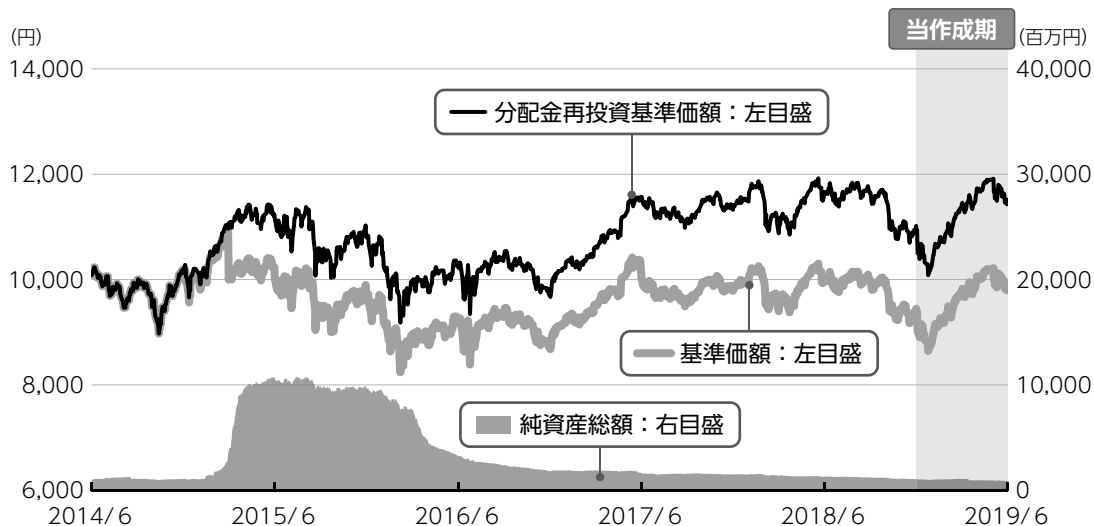
(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年6月5日～2019年6月5日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額は、2014年6月5日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2014/6/5 期初	2015/6/5 決算日	2016/6/6 決算日	2017/6/5 決算日	2018/6/5 決算日	2019/6/5 決算日
基準価額 (円)	10,085	10,005	9,167	10,000	10,000	9,876
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	1,120	0	385	79	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.5	-8.4	13.3	0.8	-1.2
純資産総額 (百万円)	1,019	10,511	3,248	1,607	1,295	865

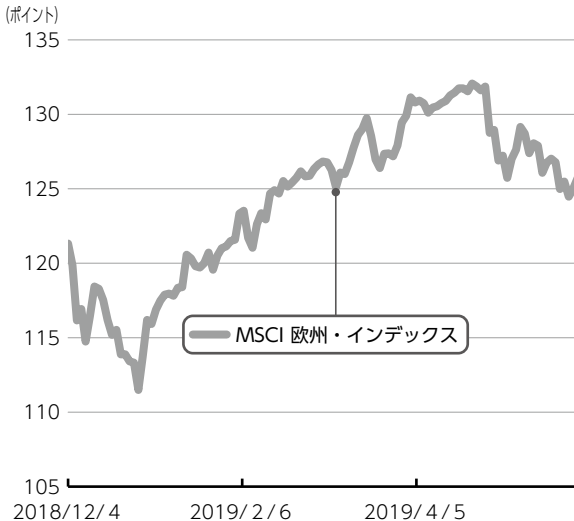
※ファンド年間騰落率は、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第20期～第21期：2018年12月6日～2019年6月5日

▶ 投資環境について

欧州株式市況の推移



▶ 欧州株式市況

欧州株式市場は、当作成期首から2018年12月末にかけて英国の欧州連合（EU）離脱をめぐる懸念が高まったことや、米中関係悪化が懸念されたこと、グローバル景気の減速懸念などを背景に下落しました。その後当作成期末にかけては、米利上げ観測が後退したことや米中通商協議の進展期待、英国のEU離脱をめぐる懸念が後退したことなどから上昇しました。

（注）現地日付ベースで記載しております。

（注）出所：MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的など一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

▶ 国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移し、足下ではマイナス0.05%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

日銀による短期国債の買入れなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.1%を下回る水準で推移しました。当作成期首は、短期国債の需給の引き締めからマイナス0.30%まで低下していましたが、その後は徐々に上昇していき、足下はマイナス0.16%程度で推移しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジあり）

当作成期を通じて、円建の外国投資信託であるユーロピアン・エクイティ・ファンド（JPY Hedged Class）を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンドへの投資も行いました。

▶ ユーロピアン・エクイティ・ファンド（JPY Hedged Class）

欧州の株式等を主要投資対象とし、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、企業の質や将来の収益見通し、株価水準などを考慮し、投資妙味が高いあるいは株価上昇余地が見込まれると判断した銘柄に投資を行いました。

外貨建資産については、対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

新規組入、全売却した銘柄のポイントは以下の通りです。

主な新規組入銘柄

業績成長期待などから英国の大手金融機関のLLOYDS BANKING GROUP PLCを新規購入しました。

主な全売却銘柄

株価が上昇したことから、スペインの物流会社のCIA DE DISTRIBUCION

INTEGRALを全売却しました。

パフォーマンスに寄与した主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

スペインの通信タワー会社のCELLNEX TELECOM SAやドイツのアパレル会社のZALANDO SEなどの株価が上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。

▶ マネー・プール マザーファンド

わが国のコール・ローンおよびC P 現先取引等への投資を通じて、安定した収益の確保および適正な流動性の保持をめざした運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万円当たり、税込み）

項目	第20期 2018年12月6日～2019年3月5日	第21期 2019年3月6日～2019年6月5日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）	-（-%）
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	2,479	2,535

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 欧州アクティブ株式オープン（為替ヘッジあり）

今後の運用方針

引き続き、当ファンドが主要投資対象とする円建の外国投資信託であるヨーロッパ・エクイティ・ファンド（JPY Hedged Class）に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンドへの投資も行います。

▶ ヨーロッパ・エクイティ・ファンド（JPY Hedged Class）

運用環境の見通し

英国のEU離脱やイタリアの財政問題、欧州経済の減速懸念について先行きが不透明なことから欧州の株式市場は変動幅の大きい展開が想定されますが、企業業績は緩やかな成長が続くと考えています。また、米国の堅調な経済成長などが株式市場を下支えするとみています。

今後の運用方針

引き続き、主として欧州の株式等に投資を行います。外貨建資産については原則として対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。

ポートフォリオの構築に際しては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行い、企業

の質、株価水準、将来の収益見通しなどを考慮し、投資妙味が高いあるいは株価上昇余地が見込まれると判断した銘柄に投資を行う方針です。

割安で取引されながらも今後の成長が期待できる良質な企業への投資を行います。

▶ マネー・プール マザーファンド 運用環境の見通し

物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと思われます。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

今後の運用方針

わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行う方針です。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）とともに、約款記載の整備を行うため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載変更ならびに約款記載の整備を行い、信託約款に所要の変更を行いました。（2019年3月5日）

▶ その他

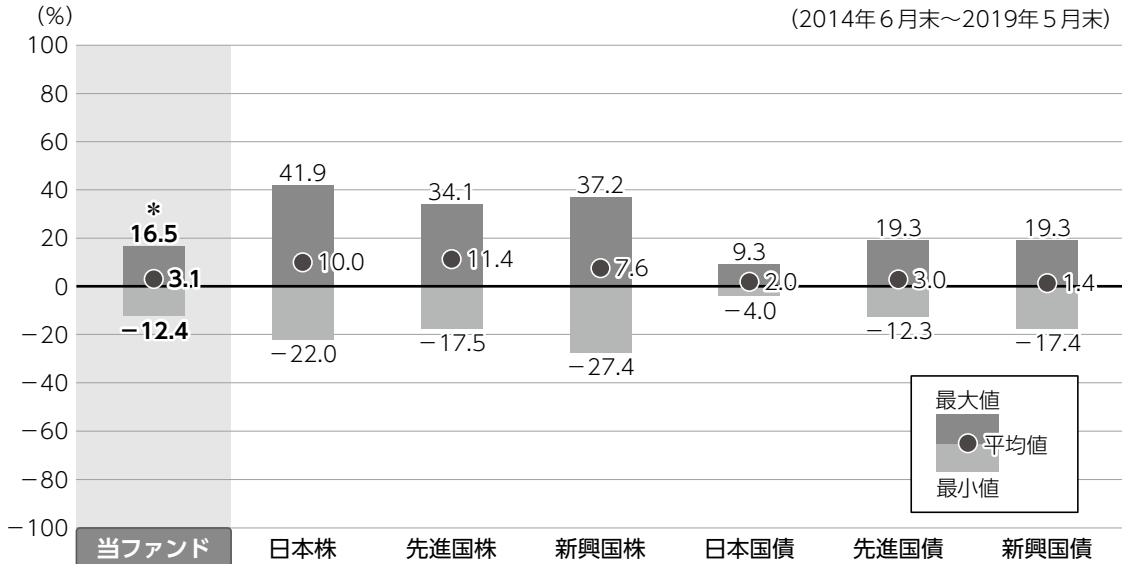
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2024年3月1日まで（2014年3月3日設定）
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>■当ファンド ヨーロッパ・エクイティ・ファンド（JPY Hedged Class）受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券</p> <p>■ヨーロッパ・エクイティ・ファンド（JPY Hedged Class） 欧州の株式等</p> <p>■マネー・プール マザーファンド わが国の公社債</p>
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州の株式等を実質的な主要投資対象とし、ポートフォリオの構築に際しては、ボトムアップ・アプローチを活用しアナリストによる徹底的な銘柄分析を行います。 ・ 原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
分配方針	毎年3、6、9、12月の5日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年6月から2019年5月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2015年3月～2019年5月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	TOPIX (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2019年6月5日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	第21期末 2019年6月5日
ヨーロッパ・エクイティ・ファンド（JPY Hedged Class）	92.3%
マネー・プール マザーファンド	0.0%

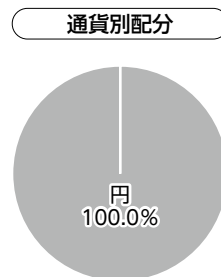
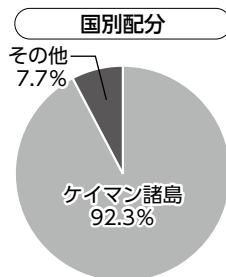
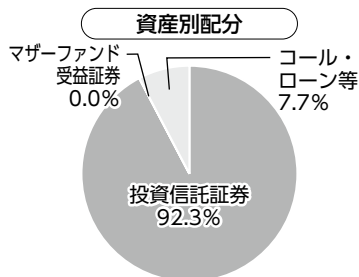
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

純資産等

項目	第20期末 2019年3月5日	第21期末 2019年6月5日
純資産総額 (円)	1,085,230,275	865,502,414
受益権口数 (口)	1,107,513,325	876,329,294
1万口当たり基準価額 (円)	9,799	9,876

※当作成期間中（第20期～第21期）において追加設定元本は 0円
同解約元本は262,337,927円です。

種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

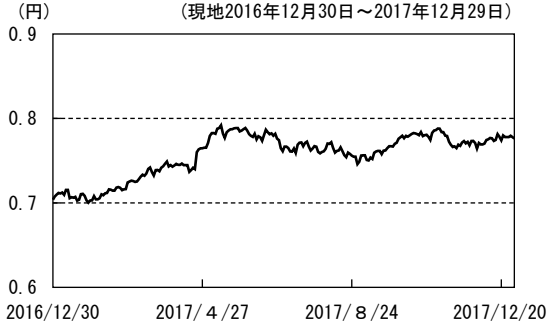
※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

組入上位ファンドの概要

ヨーロピアン・エクイティ・ファンド (JPY Hedged Class)

(現地2017年12月29日現在)

基準価額の推移



・上記には、分配金が含まれていません。

ヨーロピアン・エクイティ・ファンド 全体

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：57銘柄)

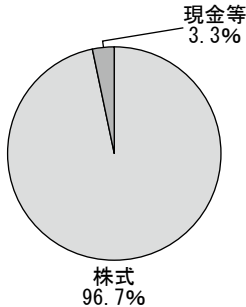
	銘柄名	国	業種	組入比率
1	ネスレ	スイス	生活必需品	4.9%
2	ノバルティス	スイス	ヘルスケア	3.5%
3	ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	3.4%
4	ボーダフォン・グループ	英国	電気通信サービス	2.8%
5	アリアンツ	ドイツ	金融	2.6%
6	ブルーデンシャル	英国	金融	2.6%
7	LVMHモエ ヘネシー・ヴィトン	フランス	一般消費財・サービス	2.5%
8	チューリッヒ・インシュ ランス・グループ	スイス	金融	2.4%
9	ユニベル・ロダムコ	フランス	不動産	2.3%
10	BNPパリバ	フランス	金融	2.2%

- ・国および業種はティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドが定義した区分に基づいています。
- ・比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

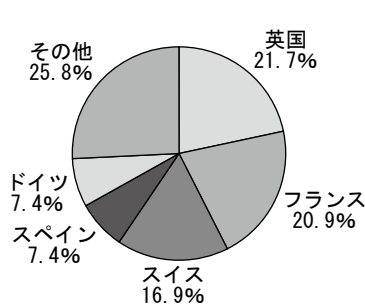
基準価額以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「ヨーロピアン・エクイティ・ファンド全体」ベースで表示しています。

種別構成等

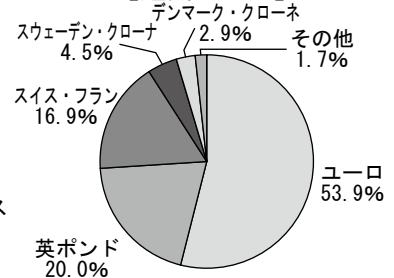
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率は上位5項目を表示しています。
- ・国別配分はティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッドが定義した区分に基づいております。
- ・ヨーロピアン・エクイティ・ファンド（JPY Hedged Class）において、保有資産に対し、対円で為替ヘッジを行っており、実質的な通貨はおおむね円となっています。

1万口当たりの費用明細

（現地2016年12月31日～2017年12月29日）

1万口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示はできません。

「参考情報」

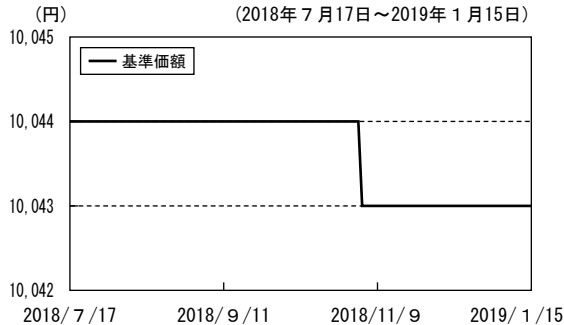
費用項目	比率
信託（管理）報酬	0.64%
その他	0.54%
費用合計	1.18%

- ・上記は、Financial Statementsに掲載されている費用明細を三菱UFJ国際投信が「信託（管理）報酬」と「その他」に分類して表示したものです。
- ・比率は、上記分類による費用金額の合計を期中の平均純資産総額で除した参考値です。

組入上位ファンドの概要

マネー・プール マザーファンド

基準価額の推移



(2019年1月15日現在)

組入上位10銘柄

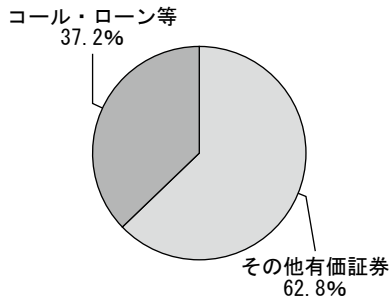
(組入銘柄数：1銘柄)

	銘柄	種類	国	業種／種別	比率
1	グンゼ 190116	其他有価証券	日本	コマースナル・ペーパー	62.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

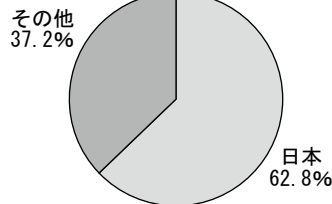
- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・なお、その他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

種別構成等

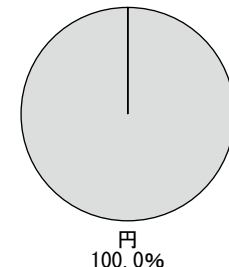
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



- ・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
- ・国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	0円	0.000%
（その他）	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,043円です。

(2018年7月18日～2019年1月15日)

- (注) 1万口当たりの費用明細は、組入れファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要については、3ページの注記をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

154024

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● TOPIX（配当込み）

TOPIX（配当込み）とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数（TOPIX）に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX（配当込み）に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX（配当込み）の算出もしくは公表の停止またはTOPIX（配当込み）の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

● MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

J PモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信